

## 1 大会山域について

宝満山は古くから霊峰として崇められ、山頂の巨岩上に竈門神社の上宮があり、全山花崗岩で、英彦山、脊振山と並ぶ修験道の霊峰である。山頂の眺望は抜群で視界がよければ英彦山・古処山・馬見山・くじゅう連山・雲仙岳まで遠望できる。

宝満山は別名で、筑紫野市の二日市方面から望むと「笠」の形に見えることから「御笠山」とも呼ばれ、ふもとは日本書紀にも記される三笠の森の史跡がある。

また、九合目にある竈門岩、もしくはカマドのような形をしていて、常に雲霧が絶えず、それがちょうどカマドで煮炊きをして煙が立ち上っているように見えることから「竈門山」といわれる。

宝満山を水源とする河川には博多湾に流れる御笠川、多々良川に合流して博多湾に流れる宇美川、筑後川に合流し有明海に流れる宝満川がある。

## 2. 大会コースのルートガイド

**楽園キャンプ場**の車道を山頂目指して出発するとすぐに右側にある歩道を進む。しばらく進むと左に米の山、直進荒田高原、右に若杉山の十字路になるので右に進む。山頂に向かって進んでいくと無線中継所がある**若杉山**に到着し、ここから本格的な登山道となる。周辺にはシャガが咲いている。

今回の大会ルートを一望できる若杉鼻を通過すると急な下りになるので注意して通過する。

その後数回のアップダウンを繰り返し山小屋の横を通過すると**ショウケ越**に到着する。ここに架かる陸橋は現在使用禁止なので左側から県道60号線へ降りて行き、走行中の車に注意して横断し陸橋の南側へ進む登山道に入る。

ここから鬼岩谷と呼ばれる773.8mピークまでは長い時間の登りとなる。また、林道が整備されつつあるので登山道と間違えないように登っていく。

**鬼岩谷**に到着すると右に宇美町方面への分岐があるが南側の縦走路を進んでいく。

一度高度を下げ再び登っていくと828mの**砥石山**、

途中ススキの草原と山頂付近の三つ葉ツツジの群生を通過しながら草原状の山頂になっている**前砥石山**に到着。他にツゲも見られる。ここからは南側及び西側の展望が開けている。

南側の縦走路をそのまま進んでいくと数回左側に飯塚方面への道、右側に昭和の森への分岐がある。



若杉山頂までの登山道（十字路）



ショウケ越の陸橋を左から降りる

特に最初の昭和の森分岐は間違えやすいのでしっかりと確認して進む。

この付近からブナが見え始める。

しばらく進むと航空監視レーダーがみえてくる。その横に見える山頂がこの山域で最も高い三郡山である。

三郡山山頂には進まず、アスファルト道になっている三郡山レーダーサイトを進む。アスファルト道が米の山方面の看板からガードレールの右側に進むと再び登山道にはいる。宝満山方面へ進んでいくと頭巾山分岐を通過する。この付近はブナ林やシダ林がある。縦走路を進んでいくと途中に難所ヶ滝分岐が2つ右側にある。そのまま直進するとモミの木が植生を占めてくる。

間もなく右側に仏頂山巻道分岐が見えてくる。仏頂山は登らずに巻道を通る。巻道の途中に右側にうさぎ道と呼ばれる分岐があるので間違えないように注意しながら進み元の縦走路に合流し宝満山頂方向に進む。しばらく進むと宝満山山頂とキャンプ場に分かれる宝満山分岐に出るのでキャンプ場に進む。下っていきくとすぐに宝満山キャンプ場に到着する。

ここには山小屋のほかにトイレや水場もある。

ここから女道と呼ばれる登山道を進む。

途中左に南側の登山口分岐があるが直進する。

途中に筑紫シャクナゲの植樹を見ながら進むと中宮跡にでる。ここには山頂に向かう羅漢道と正面登山道の2本の登山道があり、下山道には行者道と正面登山道があるが正面登山道を進み下山する。ここからは、これまで以上に他の登山者の数が増えていくので時間に余裕を持って、お互いに譲り合って進んでいきたい。石段を進んでいくと百段ガンギ、殺生禁断の石碑、水場がある。これらを通過ししばらく進むと一の鳥居がありここでも筑紫シャクナゲの群生が見られる。ここは林道終点である。

登山道を進み途中一度林道を横断するが注意して横断する。2つの池の横を通過し竈門神社に到着する。



三郡山（ガードレールの右側から登山道になる）



仏頂山巻道分岐（右側の木に看板がある）



一の鳥居